

生涯学習 だより

教育委員会社会教育課
☎ 27-4185
(両津支所内)

あのまちこのまち

「第4回親子でチャレンジ!! ドッジビー大会」(両津地区)

2月24日(日)第20回チャレンジ・ザ・ニュースポーツ大会の「第4回親子でチャレンジ!!ドッジビー大会」が両津総合体育館で開催されました。

当日はあいにくの雪模様でしたが、寒さにも負けず親子で白熱した試合を繰り広げ、楽しい汗を流すひとときを過ごしました。



「第27回金井芸能発表会」 (金井地区)

2月24日(日)金井能楽堂で第27回金井芸能発表会を開催しました。当日は雪の降る寒い日でしたが、この日のために練習をしてきた自主講座団体や学校等から17団体が出演し、約300人の地域の方々から観覧いただきました。

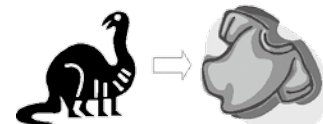
遠くてちかい? 地下のこと



ジオパーク、推進日記

24

日本で作られた製品のことを「メイドインジャパン」、中国で作られた製品のことを「メイドインチャイナ」と言います。では、「メイドインアース」だと、どうなるでしょうか? メイドインアースは、直訳すれば「地球産」「地球から作られたもの」という意味になります。では、どんなものが「地球産」なのでしょう? たとえば、私たちが普段着ている服。特にポリエステルは石油から作られています。では、石油とは一体なんなのでしょう?



大昔に生き物がいたからこそ、今の私たちの生活が成り立っている。

石油とは、簡単に言うと「大昔の生き物の死骸」なのです(※諸説あります)。大昔、地球上に生息していた生き物たちが土砂に埋まり、化石になる過程で石油になったとされています。つまり、私たちは何億年もかけて地球と生物が作り出した「大地の恵み」を使って生活しているのです。そう考えると、大地や地球が急に身近に感じられませんか? 今、私達が着ている服を作った石油は、もともとは恐竜だったのかもしれないのです。多くの人の知恵によって一枚の服が作られますが、もっと根本的に考えていくと、私た

ちは地球を加工して生活しているのです。つまり、身近にあるもの全てがメイドインアース、「地球産」なのです。佐渡ではどんなメイドインアースがあるのでしょうか? たとえば、先月号でお知らせした土人形です。佐渡で採れる土を利用して、おひな様や子供たちが遊ぶ土人形などを作っていました。これも、地球を加工していたのですね。

遠いようで近い存在、地球の「地下」。私達はその地下から得られる資源に頼って生活しているのです。地球は、私達の生活には欠かせないものなのです。でも、頼っている割には地下のことはまだよく知られていません。ジオパークは大地と人の生活を考える場所です。当たり前のように恵みをもたらしてくれる地球と、私たちの生活との関わりを一緒に考えてみませんか?

◆教育委員会社会教育課ジオパーク推進室(両津郷土博物館内)
☎ 23-2101